

## 熊本うまいものフェア

### 天草の“旬の特産品”を福岡で紹介！

6月5日、福岡県筑紫野市の大型商業施設で「熊本うまいものフェア」が開催され、特設会場を埋め尽くした多くの家族連れなどでにぎわいました。今回の同フェアは、“天草”をメインにした催しで、本市のほか上天草市も参加。イベントでは、安田市長をはじめハイヤ踊りの衣装に身を包んだ宣伝隊が、今が旬の天草晩柑や天草緑竹、天草マンゴー、天草大王などの特産品を紹介したほか、観光シーズンを迎える夏に向けて、天草への来島を呼びかけました。



▲“天草マンゴー”をPRする  
安田市長と宣伝隊の皆さん

## 県消防協会天草市支部消防操法大会

### 小型ポンプ操法で速さと正確さを競う

6月6日、楠浦町の錦島運動広場で「第3回熊本県消防協会天草市支部消防操法大会」が行われました。市内10方面隊の消防団員がそれぞれ1チーム5人（補助員含む）で、あらかじめ設置された火点へ小型ポンプを始動し放水。その速さや操作の正確さを競いました。

●大会結果（敬称略）＝【団体の部】優勝・牛深方面隊、準優勝・五和方面隊、3位新和方面隊（牛深・五和は8月22日㊿、荒尾市で開かれる県大会に出場）。【個人優秀選手】指揮者：岸谷京、1番員：宇左美健志、2番員：佐竹寛寿、3番員：山見勇成。※いずれも牛深。



▲機敏な動きで正確な操作を行う選手たち

## 天草コレジヨ館20周年記念事業

### 400年前の天草に思いをはせる

天草コレジヨ館の開館20周年を記念して6月5日、同館でイベントが開催され160人が参加しました。催しでは、天正遣欧少年使節の1人である、中浦ジュリアンの叔父から14代目にあたる子孫の小佐々学氏を招いて講演会を実施。また、地元の演奏団体“コレジヨの仲間”と熊本市の演奏グループ“葦”が、同館に復元・展示してある古楽器などを使用した合同コンサートも行われ、聴衆は奏でられる美しい音色に聞き入っていました。



▲演奏を披露する“コレジヨの仲間”と“葦”

## 天草市健康フェスタ

### 来て、見て、やってみよう！

6月5日、天草市民センターで、同20日、天草勤労者体育館（天草町）で「天草市健康フェスタ」が開催されました。これは、体の状態や食事、運動などについて知り、生活習慣を改善するきっかけづくりなどを目的に実施しているもの。各会場には、健康相談や運動器具などが利用できるコーナーが設置され、参加者はスタッフの指導を熱心に聞いたほか、歯の無料健診では子どもたちが歯科医師からの指導を受けながら、真剣に歯みがきをしていました。



▲きちんと歯みがきできるかな？

## 九州トライアル選手権熊本大会

牛深

### 牛深の大自然でトライアル！

5月30日、「九州トライアル選手権熊本大会」が久玉町で開催され、48人が出場しました。この大会は、K0レーシングが、町おこしとモータースポーツの普及を目的に実施。競技は、自然の地形をいかしたコースを自動二輪車で走行し、タイムやいかに足を着かずに運転できるかなどのテクニックを競うもの。会場を訪れた観客からは、選手のすばらしい運転技術に歓声が上がったほか、来年もぜひ開催してほしいという声が聞かれるなど好評でした。



▲険しい斜面を走行する選手

## 栖本町社会教育学級開講式

栖本

### まちづくりは“ひと”そして“であい”

5月20日、栖本町社会教育学級の開講式が栖本福祉会館で行われ、地区住民など150人が参加しました。開講式では、「まちづくり、ひと、であい」と題して、市まちづくり協議会連絡会・中川竹治会長が講演。中川さんは、まちづくりに先進的に取り組み、そこで活躍する人たちとの出会いを振り返りながら、「天草におけるまちづくりには、お年寄りの技・知識をいかしていくことが大切」と話され、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲「子どもたちが胸を張って語れる天草をつくらなければならない」と語る中川さん

## 根引山記念祭

河浦

### 平和への祈りを捧げる

根引山にある、明治時代天草町の大江に赴任したフェリ工神父によって開設された“子部屋”と呼ばれる孤児院の跡地で5月16日、「根引山記念祭」が開かれました。これは、同院の存在を後世に伝えることを目的に、平成12年に関係者で実施した十字架の設置や道行きの整備後10年の節目を記念して開催したもの。式典では、参加した関係者など50人が聖歌を合唱したほか、平和への祈りを捧げ、会場はおごそかな雰囲気になっていました。



▲祈りを捧げる参加者

## “パフォーマンスアート”の夕べ

本渡

### 美しい音色や歌に心震わす

6月3日、天草宝島国際交流会館ポルトで「パフォーマンスアート」の夕べが開かれ、50人が参加しました。これは、市教育委員会とNPO法人天草青少年アカデミーが開催したもの。催しでは、鹿児島県出身でピアノ奏者・歌手の木下航志さん（東京都）と、熊本県出身で尺八奏者の安田知博さん（京都府）を招いて演奏会を実施。ともに目が不自由な2人が織り成すメロディーに、会場は感動の渦に包まれ、聴衆からは盛んな拍手が送られていました。



▲演奏をする木下さん（左）と安田さん（右）